



うわど



気づき 考え 高め合い チャレンジする上戸っ子

令和2年8月17日

川越市立上戸小学校 川越市上戸390-1 Tel 232-7200

『継続は力なり』

校長 黒須 淳一

16日間の短い夏休みが終わりました。ご家庭でのお子さまは、どのように過ごしていたでしょうか。4月からの休業中や6月再開から身につけたこと、そして夏休みに頑張ったことなど、2学期も継続しながら、お子さまが自分の力としていけるよう職員全体が一丸となり、指導していきます。

さて、よく「継続は力なり」と言います。「コツコツと続けることで、その積み重ねが力となっていく」という意味で使われています。大正から昭和初期に広島で活動した住岡夜晃（すみおかやこう）という宗教家の詩から生まれた言葉だといわれています。この「継続は力なり」は、別の視点から言い換えると、「何事も、継続するということは大変な努力が必要である」というふうにも考えることができるのではないのでしょうか。私自身も、日常の生活を振り返り「継続すること」の難しさについて改めて考えさせられるこの頃です。

「継続すること」は簡単なようで実はとても難しいことです。私なりに考えてみると、継続した結果、「力」とならなければならないからです。ただ続けているだけでは足りないということです。小学生という時期だからこそ、私たち大人が子どもたちの「コツコツと続けること」への支援を、そして「積み重ねること」への支援を適切に行っていかなければならないと考えています。学期が改まり、新たな気持ちで頑張ろうとしている子どもたちを、知・徳・体それぞれの側面から「力」をつけていけるよう、担任をはじめとした教職員で支援していきますのでご協力をお願いいたします。

その一方で、夏休み明けや2学期のスタートのこの時期は、子どもたちが心に何かしらの不安や葛藤を抱えていることも考えられます。私たち教員も、このような変化にいち早く気付くことができるよう、子どもたちとのコミュニケーションを大切にして、きめ細やかな指導・支援を進めていきます。保護者や地域の皆様も、それぞれの立場で子どもたちを支え、見守っていただけますようお願いいたします。子どもたちの心の不安や問題に気づき、取り除くためには、①家族での会話・団欒の時間をつくる②親子で一緒に、宿題や持ち物の確認をする③子どもの言動・表情など観察いただくなどご協力ください。

おわりに、新型コロナウイルスの猛威は収まることを知らず、依然として私たちの周りに脅威として存在しています。同時に、梅雨明け後、夏の到来と共にやってきた熱中症にも気が抜けません。このような中でも学校は、見守り、見届けをしっかりと行っていきます。2学期もよろしくようお願いいたします。